

箱根ラリック美術館

「ラリック×ジュエリーデザインアワード2013 特別展示企画」

2013.8

ジュエリーの巨匠ルネ・ラリックと日本の新鋭ジュエリストとの美の響演、今年も開催

箱根ラリック美術館では、日本ジュエリーの発展と文化の高揚を目的に、一般社団法人日本ジュエリー協会(JJA)が毎年開催している“JJAジュエリーデザインアワード”、2013年の受賞作品38作品、59点を10月20日(日)より11月4日(月・祝)まで当館企画展示室にて展示いたします。例年好評のこの展示も今回で4回目を迎え、ルネ・ラリックの芸術性あふれた空間の中で、現代のジュエリストの作品がラリックの作品と響演します。

ルネ・ラリックは、ガラス工芸の巨匠として知られていますが、当初はジュエリー作家として活躍しました。ダイヤモンドやルビーなどの貴石だけではなく半貴石やバロックパール、七宝などを用いて、斬新で詩的な着想で宝飾品をデザイン。モダン・ジュエリーの先駆者とも言われています。

受賞作品が展示される期間、宝飾とガラスの二つの分野で頂点を極めたラリックの作品が登場します。ブレスレット「羽ばたく女たち」は、バロック真珠をアクセントに配置し軽やかに舞い踊る女性を表現した、七宝の高度な技法を使ったラリックならではの作品です。また、フランスで愛されるスズランの花を描いた、当時流行のアール・デコ様式の雰囲気漂う置時計「マルリー」も展示されます。

ジャポニズムの影響を受け、独自の感性やアイデアで宝飾を芸術の域まで高め、新しい時代を築いたルネ・ラリック。日本固有の美しい文化と伝統を背景に、未来を築きゆく日本の新鋭ジュエリスト。箱根ラリック美術館で、時代を超えた美のコラボレーションがお楽しみいただけます。

期 間 2013年10月20日(日)～11月4日(月・祝)
 会 場 箱根ラリック美術館
 出展作品 ルネ・ラリックの作品
 (テーマ「つながり愛」に沿った作品)
 ブレスレット「羽ばたく女たち」
 置時計「マルリー」 など
 JJAジュエリーデザインアワード2013
 受賞作品 38作品、59点

主 催 一般社団法人日本ジュエリー協会
 箱根ラリック美術館



ルネ・ラリック作 ブレスレット「羽ばたく女たち」 1897-1898年頃



ルネ・ラリック作 置時計「マルリー」 1931年

昨年(2012年)の受賞作品



日本ジュエリー大賞・経済産業大臣賞



厚生労働大臣賞

東京都知事賞
プラチナ・ギルド・インターナショナル賞

日本ジュエリー協会会長賞



LALIQUE MUSEUM, HAKONE

箱根ラリック美術館

特別企画「日曜日の庭」開催中！10月下旬からは紅葉も見ごろ

2013.8

箱根・仙石原にある「箱根ラリック美術館」の庭園は、例年10月下旬から11月中旬まで紅葉が見頃を迎えます。美術館の庭園、ショップ、レストランのみ利用の場合は、入館料なしで入場できるため、気軽に立ち寄って庭園内の散策を楽しむことができます。

ラリックが愛し、多くの作品にモチーフとして取り入れた“自然”。この自然あふれた約4,000坪の広大な敷地には、高さ20メートル以上もあるケヤキやイチョウ、モミジなど広葉樹の大木が多数あり、毎年すばらしい紅葉を見ることができます。また、12月1日（日）まで、特別企画「ルネ・ラリック 日曜日の庭 クレールフォンテーヌへの招待状」を開催中。秋が深まる庭園とラリック作品とのコラボレーションが楽しめます。

敷地内の紅葉写真をいろいろ取り揃えています。

秋限定スイーツ、今回は富士山モチーフで登場！

箱根エリアの美術館やホテル、飲食店など34店舗が箱根の新しい魅力をスイーツで提案するキャンペーン「箱根スイーツコレクション2013秋」。今回は、富士山の世界文化遺産登録を記念して「富士山スイーツ」をテーマに実施します。カフェレストラン「L Y S」が提供するのは、“足柄イチジクとゆずの球体モンブラン”。アーモンドクリームを混ぜ込んだタルトに、小田原産ゆずのクリームとジャムを包み込んだ球体の栗のモンブランが乗っています。上には足柄イチジクとメレンゲ、周りには雲のような綿菓子をあしらひ、雲海に浮かぶ朝焼けの富士山をイメージ。ちょっとお酒をきかせたモンブランの甘さと、ゆずの爽やかな酸味がマッチした、大人も楽しめるスイーツです。

※提供期間：2013年9月1日(日)～11月10日(日)

松永記念館にてラリックの作品で「第3回交流美術展」を開催

箱根ラリック美術館の作品が、小田原の松永記念館で展示されます。ラリックの花鳥風月の世界が描かれた花器や照明作品を、電力王・茶人として知られた松永安左エ門（耳庵）の創立になる松永記念館にてご紹介します。

開催期間 2013年10月25日(金)～12月8日(日)
 会場 松永記念館 本館・別館展示室（神奈川県小田原市板橋941-1）
 観覧料 一般500円/大学生・高校生300円 ※中学生以下は無料
 出展作品 ルネ・ラリック作
 花器「つむじ風」1926年 など数十点
 開館時間 9:00～17:00 ※会期中、休館日なし
 TEL 0465-22-3635（松永記念館）



庭園の紅葉



美術館棟前のイチョウ



「日曜日の庭」展示の様子



秋限定スイーツ「足柄イチジクとゆずの球体モンブラン」(800円)



ルネ・ラリック作 花器「つむじ風」



松永記念館



LALIQUE MUSEUM, HAKONE



施設概要

施設名称	箱根ラリック美術館 (LALIQUE MUSEUM, HAKONE)
所在地	〒250-0631 神奈川県足柄下郡箱根町仙石原186番1 TEL : 0460-84-2255 FAX : 0460-84-2271 URL : www.lalique-museum.com
開館日	2005年3月19日 (土)
営業時間	午前9時～午後5時 (入館は午後4時半まで)
営業日	年中無休 (展示替のため臨時休館あり)
美術館入館料	大人 1,500円 高校生、大学生、シニア (65歳以上) 1,300円 小学生、中学生 800円 ※レストラン、ショップ、庭園の入場は無料です
施設内容	敷地総面積 13,004.50㎡ 美術館棟 2,601.30㎡ ミュージアム・ゲート 70.78㎡ 特別展示 オリент急行サロンカー カフェレストラン・LYS 1,083.45㎡ 店内100席 テラス100席 ショップ・パッサージュ 827.93㎡ 1階90坪 2階30坪 庭園 (池、小川、蝶の森)
専用駐車場	第一駐車場 (100台) 1日300円 第二駐車場 (100台) 無料
アクセス	電車・バスをご利用の場合 ■箱根登山鉄道「箱根湯本駅」より、箱根登山バス「湖尻・桃源台」行きにて約30分 「仙石案内所前」下車すぐ ■小田急箱根高速バス「新宿駅」より約120分「箱根仙石案内所」下車すぐ ■箱根施設めぐりバス「箱根ラリック美術館」下車すぐ ■小田急箱根高速バス羽田線「羽田空港」より「横浜駅東口バスターミナル (そごう横浜店)」 「御殿場駅」経由約150～165分 「箱根仙石案内所」下車すぐ 車をご利用の場合 ■東名御殿場I.C.より乙女峠経由、仙石原まで約20分
設計・施工	鹿島建設株式会社、株式会社丹青社
事業主	株式会社ル・ミューゼハタ
本社所在地	東京都中央区銀座4丁目4番5号
代表者	代表取締役 旗 功泰

本件及び取材等に関するお問い合わせ先 箱根ラリック美術館PR担当:株式会社小田急エージェンシー tel :03-3344-5988
貴誌(紙)・貴番組にて掲載いただく際の読者からのお問い合わせ先 箱根ラリック美術館 tel :0460-84-2255



LALIQUE MUSEUM, HAKONE